

ミャンマーの

人道支援再開

A M D A

国際医療ボランティア

A M D A (本部・岡山市)

は九日、軍事政権の反政府デモ制圧に伴う混乱で中断していたミャンマーでの人道支援活動を同日、再開したと発表

した。

A M D Aは同国で一九九五年から、貧困層の母子への保健医療支援などを実施。しかし、軍事政権の弾圧で、ジャーナリスト長井健司さんが射殺されるなど市民への発砲が続き、今月一日から、最大都市ヤンゴンなど四カ所の現地事務所を閉鎖

していた。

会見で鈴木俊介理事は再開理由について、「事態の沈静化が進み、支援活動上の危険性が低くなった」と説明。菅波茂代表は「国際社会から孤立し各国の援助が少ないからこそ、N G O (非政府組織) が人道的見地から活動する意義がある。ミャンマーでの支援活動は今後も続ける」と話した。

(民直弘)